



報道関係各位

上智大学アメリカ・カナダ研究所主催 ソフィア・シンポジウム

「After Katrina and 3.11: Representation, Politics, Culture カトリーナ以後、3.11 以後: 表象、ポリティクス、文化」開催のお知らせ

上智大学アメリカ・カナダ研究所は、2012年6月8日(金)～9日(土)に、ソフィア・シンポジウム「After Katrina and 3.11: Representation, Politics, Culture カトリーナ以後、3.11 以後: 表象、ポリティクス、文化」を開催いたします。

東日本大震災が発生した3月11日以後、米国のニューオーリンズと日本の間に新たな関係が構築されています。2005年8月、ハリケーン・カトリーナによって壊滅的な打撃を受けた米国ニューオーリンズでは、被災後に行われた多くの研究を通じて、「ポスト・カトリーナ」という用語や「新たな標準」という表現が生まれました。

本シンポジウムでは、アメリカ研究、メディア研究、文化研究、そして環境研究という多様な分野の研究者が一堂に会し、災害というものがメディア、および政治・経済・社会においてどのように表現されてきたかについて議論いたします。東日本大震災から1年を経た今、改めてハリケーン・カトリーナ災害の影響を考察することにより、日本においてカトリーナ研究がどのように益しうるかを探ります。

開催概要

日程:	2012年6月8日(金)、6月9日(土) (入退場自由)
場所:	上智大学四谷キャンパス 中央図書館9階 911号室 (東京都千代田区紀尾井町7-1) * 駐車場のご用意はございません。
言語:	英語 (6月9日の一部プログラムのみ日本語の同時通訳あり)
費用:	無料、申し込み不要
スケジュール:	<p>6月8日(金) 18:30～基調講演 (英語のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「災害の文化的語りを比較するーカトリーナと3.11」 ダイアン・ネグラ (ユニバーシティ・カレッジ ダブリン アイルランド) <p>6月9日(土)</p> <p>13:00～15:45 口頭発表 (同時通訳あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「災害の近さー空間的転位とテレビの臨場感、ニューオーリンズから日本へ」 ジョイ・フクア (クイーンズ・カレッジ 米国) ◆「文化的世界システムの時代区分と周期性 ー文学、レンズメディア、文化研究においていかに災害を比較するか」 スティーヴン・シャピロ (ワーウィック大学 イギリス) ◆「回復力を検証するー自然、社会、テクノロジー」 原口 弥生 (茨城大学) ◆「窮状におちいった福島で保養プロジェクトがいかに大事か」 西崎 伸子・照沼 かほる (福島大学) <p>16:00～17:45</p> <p>地域芸術運動のプレゼンテーションと学生のためのワークショップ (英語のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「育てて、繁栄するーカトリーナ後のニューオーリンズにおける地域芸術の提唱」 アン・ギスルソン (プレス・ストリート・コレクティブ 米国)
主催:	上智大学 アメリカ・カナダ研究所
共催:	独立行政法人 日本学術振興会、上智大学
一般からの問合せ先:	上智大学 アメリカ・カナダ研究所 TEL: 03-3238-3908 (平日 9:30-17:00、ただし 11:30-12:30 は除く) E-mail: instacs@sophia.ac.jp

《本件に関する報道関係の方のお問合せ先-ご取材の申し込み、掲載内容の確認など》

上智大学 総務局 企画広報グループ

TEL 03-3238-3179 (平日 9:30-17:00、11:30-12:30 は除く)

E-mail sophiapr@cl.sophia.ac.jp